

スタートアップ ガイド

- ・ EX シリーズ
- ・ MX シリーズ
- ・ SX20 Quick Set
- ・ Profile シリーズ
- ・ Quick Set C20
- ・ Codec C シリーズ



ソフトウェア バージョン TC5.1
2012 年 2 月

シスコ製品をお選びいただきありがとうございます。

お使いのシスコ製品は、長年にわたり安全かつ信頼できる操作を行えるよう設計されています。

この製品ドキュメンテーションは、TC ソフトウェアを実行する Cisco TelePresence 製品の設定を行う管理者を対象としています。

このスタートアップ ガイドの主な目的は、ユーザーの目標とニーズに対応することです。このガイドについてのご意見、ご感想をお聞かせください。

定期的にシスコの Web サイトにアクセスし、このガイドの最新版を入手することを推奨します。

ユーザー ドキュメンテーションは次の URL から入手できます。

▶ <http://www.cisco.com/go/telepresence/docs>

本ガイドの使用方法

本書上部のメニュー バーと目次の各項目にはすべてハイパーリンクが設定されています。クリックすると、そのトピックに移動します。

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 (www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

目次

はじめに.....	3	付録.....	30
ユーザー ドキュメンテーション	4	タッチ コントローラの使用法	31
ソフトウェア	4	タッチ コントローラの [設定] メニュー	32
シスコのお問い合わせ先	4	リモート コントロールと画面メニューの-使用法	33
ユーザー インターフェイス	5	画面メニュー システム.....	37
ユーザー インターフェイス	6	Web インターフェイスの使用法	38
設定.....	7	Web インターフェイスの [Advanced Configuration]	
ユーザーの役割、ユーザー アカウント		ページ.....	39
およびパスワードについて	8	MX シリーズと EX シリーズの Cisco VCS	
設定作業.....	9	プロビジョニング.....	40
タッチ コントローラを使用した設定	12	シスコ Web サイト内のユーザー ドキュメンテーション.....	41
プロビジョニング設定	13	知的所有権	42
IP の設定.....	14		
H.323 と SIP の設定	15		
日時と場所の設定.....	16		
リモート コントロールと画面メニューを			
使用した設定	17		
[管理者設定] メニュー パスワードの設定.....	18		
プロビジョニング設定	19		
IP の設定.....	20		
H.323 と SIP の設定	21		
日時と場所の設定.....	22		
Web インターフェイスを使用した設定	23		
システム/コーデック パスワードの設定.....	24		
プロビジョニング設定	25		
IP の設定.....	26		
H.323 と SIP の設定	27		
日時と場所の設定.....	28		
コマンド ライン インターフェイスを使用したメニュー			
パスワードの設定.....	29		



第 1 章 はじめに

本書では、ビデオ会議システムの基本設定を行う際に必要な情報について説明します。また、リモート コントロール、タッチ コントローラ、Web インターフェイスの使用方法についても説明します。

システムの組み立てやインストールの詳細については、製品のインストール ガイドを参照してください。

このガイドの対象 Cisco TelePresence 製品

- EX シリーズ:
 - EX60
 - EX90
- MX シリーズ:
 - MX200
 - MX300
- Profile シリーズ (Codec C シリーズを搭載):
 - Profile 42 インチ
 - Profile 52/55 インチ
 - Profile 52 インチ デュアル / 55 インチ デュアル
 - Profile 65 インチ
 - Profile 65 インチ デュアル
- Quick Set C20 / C20 Plus
- SX20 Quick Set
- Codec C シリーズ:
 - Codec C40
 - Codec C60
 - Codec C90

ユーザー ドキュメンテーション

TC ソフトウェアを実行する Cisco TelePresence システムのユーザー ドキュメンテーションには、各種システムとユーザー グループ向けの複数のガイドが含まれています。

- Video conference room primer
- Video conference room acoustics guidelines
- TelePresence システムのインストール ガイド
- TC ソフトウェアのソフトウェア リリース ノート
- TelePresence システムのスタートアップ ガイド
- TelePresence システムのユーザー ガイド
 - リモート コントロール用
 - タッチ コントローラ用
- TelePresence システムのクイック リファレンス ガイド
- TelePresence システムの管理者ガイド
- PrecisionHD カメラのカメラ ユーザー ガイド
- Codec C シリーズの API リファレンス ガイド
- Codec C シリーズの TC コンソール ユーザー ガイド
- Codec C シリーズの物理インターフェイス ガイド
- 法令準拠および安全上の注意ガイド
- TC ソフトウェア搭載製品の法律およびライセンス情報

ユーザー ドキュメンテーションのダウンロード

ユーザー ドキュメンテーションは、下記のシスコの Web サイトからダウンロードできます。

▶ <http://www.cisco.com/go/telepresence/docs>

シスコの Web サイトにあるドキュメンテーションの検索ガイドラインについては、付録の「▶ シスコ Web サイト内のユーザー ドキュメンテーション」を参照してください。

ソフトウェア

製品のソフトウェアは、下記のシスコの Web サイトからダウンロードできます。

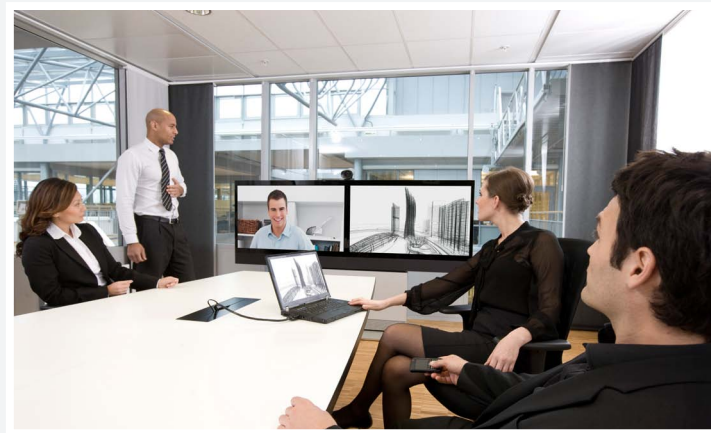
▶ <http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html>

シスコのお問い合わせ先

シスコの Web サイトでは、シスコの世界各地のお問い合わせ先を確認できます。

URL: ▶ <http://www.cisco.com/web/siteassets/contacts>

米国本社
Cisco Systems, Inc.
170 West Tasman Dr.
San Jose, CA 95134 USA



第 2 章 ユーザー インターフェイス

ユーザー インターフェイス

Cisco TelePresence ビデオ会議システムの主要な操作デバイスは、リモート コントロールまたはタッチ コントローラです。

また、すでにネットワークに接続されており、IP アドレスが分かっている場合は、Web インターフェイスでシステムを設定することもできます。

付録に、タッチ コントローラの使用方法と、リモート コントロールと画面メニューの使用方法について簡単に記載されています。Web インターフェイスの操作方法についても記載されています。



タッチ コントローラ



リモート コントロールと
画面メニュー



Web インターフェイス



第 3 章 設定

システムの設定方法

ビデオ会議システムを使用する前に、本章の説明に従って基本設定を行う必要があります。

プロビジョニング システムを使用する場合と各ビデオ会議システムを個別に設定する場合

プロビジョニングにより、ビデオ会議のネットワーク管理者は複数のビデオ システムを同時に管理することができます。通常は、各ビデオ システムにプロビジョニング サーバーの資格情報を入力するだけで、残りの設定が自動的に行われます。

プロビジョニング システムを使用しない場合は、各ビデオ システムを個別に設定する必要があります。少なくとも、IP と SIP/H.323 パラメータを設定する必要があります。また、正確な日時の設定も必要です。

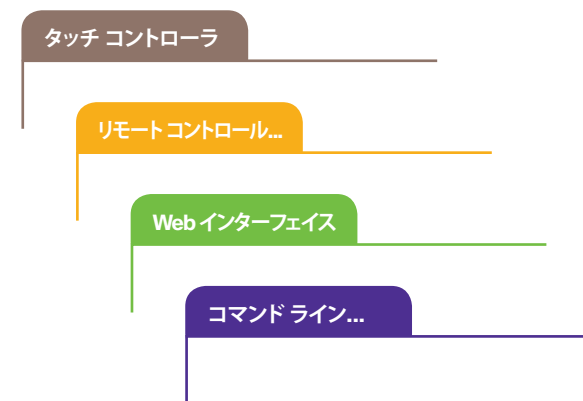
プロビジョニング システムを使用する場合と使用しない場合の基本設定については、本章の次ページ以降に記載されています。

各種ユーザー インターフェイス

タッチ コントローラ、リモート コントロール、Web インターフェイスのいずれかを使用したビデオ システムの設定方法について説明します。

また、コマンド ライン インターフェイスを使用したメニュー パスワードの設定方法についても説明します。

見やすいように、各インターフェイスの説明を次の 4 色のラベルで区別しています。



ユーザーの役割、ユーザー アカウントおよびパスワードについて

システム / コーデック パスワード

Web でシステムを設定するには管理者権限が必要です。

ユーザーの役割: ユーザーは 1 つまたは複数のユーザーの役割を所有している必要があります。ユーザーの役割には管理者、ユーザー、監査者の 3 種類があり、それぞれ異なる権限が割り当てられています。この 3 つの役割には、**重複してはいけない権限**がありますのでご注意ください。

フル アクセス権がある包括的な管理者ユーザー アカウント (デフォルトの **admin** ユーザーなど) は、3 つの役割をすべて所有している必要があります。

注: 初期設定では、デフォルトの **admin** ユーザーにはパスワードが設定されていません。システム設定へのアクセスを制限するために、**admin** ユーザーと、管理者の役割を所有するその他のユーザーにパスワードを設定することを強く推奨します。

ユーザー アカウントの作成と管理方法の詳細については、製品の管理者ガイドを参照してください。

メニュー パスワード

注: 初期設定では、メニュー パスワードは設定されていません。タッチ コントローラとリモート コントロールの管理者メニューへのアクセスを制限するために、メニュー パスワードを設定することを強く推奨します。

タッチ コントローラまたはリモート コントロールでビデオ システムを設定できるようにするには、このパスワードを入力する必要があります。

設定作業

以下のページでは、最初の設定作業について説明します。使用するデバイスの横の [詳細] ハイパーリンクをクリックすると、作業の説明に移動します。

作業の説明の左下にある [作業の概要に戻る] ボタンをクリックすると、作業の概要に戻ります。

はじめに

ここでは、システムの起動方法と、次のいずれかのユーザーインターフェイスの使用開始方法について説明します。

タッチ コントローラ



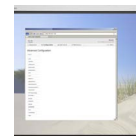
[詳細](#)

リモート コントロール
と画面メニュー



[詳細](#)

Web インターフェイス



[詳細](#)

コーデック / システム パスワードの設定

システム設定へのアクセスを制限するため、ビデオ会議システムにパスワードを設定することを強く推奨します。

このパスワードは、システムの Web インターフェイスやコマンドライン インターフェイスにサインインする際に使用します。

次の方法でシステム / コーデック パスワードを設定します。

Web インターフェイス



[詳細](#)

メニュー パスワードの設定

[管理者設定] メニューにパスワードを設定することを強く推奨します。

このメニューは、タッチ コントローラとリモート コントロールで利用可能で、ビデオ会議システムの動作に影響する設定にアクセスします。

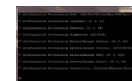
次のいずれかの方法を選択し、メニュー パスワードを設定します。

リモート コントロール
と画面メニュー



[詳細](#)

コマンドライン



[詳細](#)

設定作業(続き)

プロビジョニング設定

(プロビジョニング システムを使用する場合)

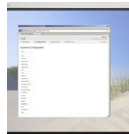
お使いのシステムが、外部のプロビジョニング システムで設定されている場合があります。その場合は、多くの設定が自動的にプロビジョニングされているため、次のページで説明するように IP、H.323、SIP、および日付と時刻の設定を行う必要は、あまりありません。

次のいずれかの方法を選択し、プロビジョニング パラメータを設定します。

タッチ コントローラ

[詳細](#)リモート コントロール
と画面メニュー[詳細](#)

Web インターフェイス

[詳細](#)

設定作業(続き)

IP パラメータの設定(プロビジョニング システムを使用しない場合)

ビデオ会議システムが IP ネットワークに接続されている必要があります。IP バージョン 4(IPv4)と IP バージョン 6(IPv6)の両方がサポートされています。どちらのバージョンも、IP パラメータをネットワークで自動的に割り当てることも、すべて手動で設定することもできます。

次のいずれかの方法を選択し、IP パラメータを設定します。

タッチ コントローラ



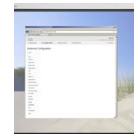
[詳細](#)

リモート コントロール
と画面メニュー



[詳細](#)

Web インターフェイス



[詳細](#)

H.323 と SIP パラメータの設定
(プロビジョニング システムを使用しない場合)

オンラインにして通話を受発信できるようにするには、システムを適切に設定する必要があります。システムは、ビデオ通話で H.323 プロトコルまたは SIP プロトコルのいずれかを使用します。

次のいずれかの方法を選択し、H.323 と SIP パラメータを設定します。

タッチ コントローラ



[詳細](#)

リモート コントロール
と画面メニュー



[詳細](#)

Web インターフェイス



[詳細](#)

日付と時刻の設定
(プロビジョニング システムを使用しない場合)

ビデオ会議システムをセットアップする際に、日付と時刻が正確に設定されているか確認する必要があります。日付と時刻の情報は、特にゲートキーパーやその他のネットワーク要素に送信されるタイム スタンプ メッセージに使用されます。

次のいずれかの方法を選択し、日付と時刻を設定します。

タッチ コントローラ



[詳細](#)

リモート コントロール
と画面メニュー



[詳細](#)

Web インターフェイス



[詳細](#)

タッチ コントローラ

タッチ コントローラを使用した設定

システムを復帰させる

タッチ コントローラにメニューが表示されない場合は、画面をタップしてシステムを起動します。

システムが起動しない場合

- ・ タッチ コントローラがメイン ユニットに接続されているか確認してください。
- ・ メイン ユニットが電源に接続されスイッチがオンになっているか確認してください。

システムのスイッチをオンにしたら、システムが起動するまで数分お待ちください。

ご不明な点がある場合は、製品のインストール ガイドを参照してください。



タッチ コントローラ

[作業の概要に戻る](#)

タッチ コントローラ

プロビジョニング設定

(プロビジョニング システムを使用する場合)

1. プロビジョニング ウィザードの開始

[その他] > [設定] > [管理者設定] > [ネットワーク設定] > [プロビジョニング] の順にタップし、[開始] をタップします。

注: 初めて EX または MX システムを接続すると、プロビジョニング ウィザードが自動的に開始します。

2. プロビジョニング インフラストラクチャの選択

サポートされている次のいずれかのプロビジョニング システムを選択します。

- Cisco TelePresence Callway
- Cisco UCM (Unified Communications Manager)
- Cisco VCS (Video Communication Server)

[次] をタップし続行します。



3. 必要なパラメータの入力

選択したプロビジョニング インフラストラクチャに必要なパラメータを入力します (下記の図を参照)。次に、[登録] をタップし、手順を完了します。

Cisco TelePresence Callway

Cisco TelePresence Callway サービスをお申し込みいただくと、**ビデオ番号**と**アクティベーションコード**をお送りいたします。

ビデオ電話番号とアクティベーション コードがお手元に届かない場合は、support@callway.com まで電子メールでお問い合わせください。



作業の概要に戻る

Cisco UCM

Cisco UCM の IP アドレスまたは DNS 名 (**外部マネージャ**)¹⁾ を取得するには、UCM プロバイダーにお問い合わせください。

Cisco UCM プロビジョニングの設定の詳細については、『*Administering TC endpoints on CUCM*』ガイドを参照してください。



¹⁾ DHCP サーバーをセットアップして、外部マネージャのアドレスを自動的に割り当てることができます (DHCP オプション 150)。ただし、入力フィールドに手入力すると、DHCP で割り当てられた設定は上書きされます。

Cisco VCS (EX シリーズと MX シリーズのみ)

Cisco VCS の IP アドレスまたは DNS 名 (**外部マネージャ**)、SIP [**ドメイン**]、および必要に応じて、プロビジョニング サーバーでビデオ システムを認証するための [**ユーザー名**] / [**パスワード**] を取得するには、VCS プロバイダーにお問い合わせください。

VCS プロビジョニングの詳細については、付録の ▶「MX シリーズと EX シリーズの Cisco VCS プロビジョニング」を参照してください。



タッチ コントローラ

IP の設定

(プロビジョニング システムを使用しない場合)

ビデオ会議システムは IP バージョン 4 (IPv4) と IP バージョン 6 (IPv6) の両方をサポートしています。

どちらのバージョンも、IP パラメータをネットワークで自動的に割り当てることも、すべて手動で設定することもできます。

パラメータを手動で設定する場合は、ネットワーク管理者に連絡し、必要なパラメータを取得してください。

IP アドレスがすでにシステムに割り当てられている場合は、[システム情報] ページに現在の IPv4 と IPv6 アドレスが表示されます。

[その他] > [設定] > [システム情報] の順にタップします。

システムの IPv4 アドレスと IPv6 アドレスは [ネットワーク] セクションに表示されます。

1. IP バージョンの選択

- i. [その他] > [設定] > [管理者設定] > [ネットワーク設定] の順にタップします。
- ii. 必要に応じて、[IP バージョン] セクションで [IPv4] または [IPv6] をタップします。
- iii. 変更内容を保存するには [保存] をタップし、保存しない場合は [元に戻す] をタップします。

2. IP 取得方法の自動 / 手動の選択

- i. IP アドレスを自動で取得する場合は、[IP 取得方法] セクションで [自動] をタップし、手動で設定する場合は [手動] をタップします。

- ii. 変更内容を保存するには [保存] をタップし、保存しない場合は [元に戻す] をタップします。

3. IP アドレスの設定

下記の表に従って、残りの IP 設定を行います。必要なアクションは、前の手順で選択した IP バージョンや IP 取得方法によって異なります。

4. メイン メニューに戻る

[終了] を押して、ホーム メニューに戻ります。

IP バージョン	IP 割り当て	
	自動	手動
IPv4	IP 設定は完了しています。	<ol style="list-style-type: none"> a. [IP アドレス]、[サブネット マスク]、[ゲートウェイ]、[DNS サーバー] アドレスを入力します。入力フィールドをタップすると、ソフト キーボードが表示されます。 b. 変更内容を保存するには [保存] をタップし、保存しない場合は [元に戻す] をタップします。
IPv6	<ol style="list-style-type: none"> a. 必要に応じて、[DHCP オプション] で [オン] または [オフ] をタップします。¹ b. 変更内容を保存するには [保存] をタップし、保存しない場合は [元に戻す] をタップします。 	<ol style="list-style-type: none"> a. [IP アドレス] と [ゲートウェイ] を入力します。入力フィールドをタップすると、ソフト キーボードが表示されます。 b. 必要に応じて、[DHCP オプション] で [オン] または [オフ] をタップします。¹ c. 変更内容を保存するには [保存] をタップし、保存しない場合は [元に戻す] をタップします。

¹ DHCP オプション:
[オフ]: すべての IP パラメータ (IP アドレスとゲートウェイを除く) を手動で設定する必要があります。全設定の詳細については、製品の管理者ガイドを参照してください。
[オン]: IP パラメータ (DNS サーバーや NTP サーバーのアドレスなど) はネットワークで自動的に取得されます。

作業の概要に戻る

タッチ コントローラ

H.323 と SIP の設定

(プロビジョニング システムを使用しない場合)

オンラインにして通話を受発信できるようにするには、システムを適切に設定する必要があります。システムは、ビデオ通話で H.323 プロトコルまたは SIP プロトコルのいずれかを使用します。

注: ネットワーク設定の詳細については、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

ネットワークが Cisco TMS (Cisco TelePresence Management Suite) で管理されている場合は、Cisco TMS 管理者がネットワークへの接続をサポートします。

H.323

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

1. **[その他] > [設定] > [管理者設定] > [ネットワーク設定] > [H323 設定]** の順にタップします。
2. **[H323 番号]** と **[H323 ID]** の入力フィールドに H323 の番号と ID を入力します。
3. H.323 ゲートキーパーのアドレスを手動で入力する場合は、**[ゲートキーパーの検出]** セクションで **[手動]** をタップし、**[ゲートキーパー アドレス]** の入力フィールドにアドレスを入力します。自動で検出する場合は、**[自動]** をタップします。
4. H.323 ゲートキーパーで認証が必要な場合に、ゲートキーパーにシステムを認証させるには、**[認証モード]** セクションで **[オン]** をタップし、**[ログイン名]** と **[パスワード]** の入力フィールドにそれぞれ情報を入力します。認証が必要ない場合は、**[オフ]** をタップします。
5. 変更内容を保存するには **[保存]** をタップし、保存しない場合は **[元に戻す]** をタップします。
6. **[戻る]** を 2 回タップして、[システム情報] ページの H323 設定を確認します。
正常にゲートキーパーに登録されると、[H323] セクションの **[ステータス]** に **[登録済み]** と表示されます。
7. **[終了]** をタップし、ホーム メニューに戻ります。

SIP

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

1. **[その他] > [設定] > [管理者設定] > [ネットワーク設定] > [SIP 設定]** の順にタップします。
2. **[URI]** 入力フィールドに SIP URI を入力します。
3. **[デフォルトのトランスポート]** セクションで希望のトランスポート プロトコルをタップします。**[自動]** を選択すると、システムは TLS、TCP、UDP の順に接続を試みます。
4. **[プロキシ タイプ]** を選択します。「-」または「+」記号をタップすると、利用可能なプロキシ タイプが順に表示されます。デフォルトのタイプは **[標準]** です。
5. SIP プロキシ アドレスを手動で入力する場合は、**[プロキシの検出]** セクションで **[手動]** をタップし **[プロキシアドレス]** 入力フィールドにアドレスを入力します。システムで SIP プロキシ アドレスを自動取得する (DHCP) 場合は、**[自動]** をタップします。
6. SIP プロキシ サーバーで認証が必要な場合は、**[ログイン名]** と **[パスワード]** の入力フィールドにそれぞれ情報を入力して、システムを認証させる必要があります。
7. 変更内容を保存するには **[保存]** をタップし、保存しない場合は **[元に戻す]** をタップします。
8. **[戻る]** を 2 回タップして、[システム情報] ページの SIP 設定を確認します。
正常に SIP サーバーに登録されると、[SIP] セクションの **[ステータス]** に **[登録済み]** と表示されます。
9. **[終了]** をタップし、ホーム メニューに戻ります。

作業の概要に戻る

タッチ コントローラ

日時と場所の設定

(プロビジョニング システムを使用しない場合)

ビデオ会議システムをセットアップする際に、日付と時刻が正確に設定されているか確認する必要があります。日付と時刻の情報は、特にゲートキーパーやその他のネットワーク要素に送信されるタイム スタンプ メッセージに使用されます。

時刻はタッチ コントローラ画面の右上隅に表示されます。

1. **[その他]** > **[設定]** > **[管理者設定]** > **[日時と場所]** の順にタップします。
2. **[24h]** または **[12h]** をタップし、希望の **[時刻表記形式]** を選択します。
3. **[dd.mm.yy]**、**[mm.dd.yy]**、または **[yy.mm.dd]** をタップし、希望の **[日付表記形式]** を選択します。
4. システムの **[タイムゾーン]** を選択します。「-」または「+」記号をタップすると、利用可能なゾーンが順に表示されます。
5. 日付と時刻を定期的に更新したい場合は、**[日付と時刻モード]** を **[自動]** に設定し、更新を希望しない場合は **[手動]** を選択します。
[手動] を選択した場合は、**[時間]**、**[分]**、**[年]**、**[月]**、**[日]** に正確な値を入力します。「+」と「-」記号をタップすると、値が上下します。
[自動] を選択した場合は、**[NTP モード]** を **[自動]** に設定して、NTP サーバー アドレスをネットワークから自動取得するか、**[NTP モード]** を **[手動]** に設定して、**[NTP サーバー]** フィールドに手動でアドレスを入力します。
6. 変更内容を保存するには **[保存]** をタップし、保存しない場合は **[元に戻す]** をタップします。
7. **[終了]** をタップし、ホーム メニューに戻ります。

[作業の概要に戻る](#)

リモート コントロールと画面メニュー

リモート コントロールと画面メニューを
使用した設定

システムを復帰させる

画面にメニューが表示されない場合は、リモート コントロールの**ホーム** (🏠) を押してメニューを表示します。

システム画面にメニューが表示されない場合

- ・ モニタが電源に接続されてスイッチがオンになっているか確認してください。
- ・ リモート コントロールに電池が挿入されているか確認してください。
- ・ システムのスイッチがオンになっているか確認してください。

システムのスイッチをオンにしたら、システムが起動するまで数分お待ちください。

上記を確認しても画面にメニューが表示されない場合は、モニター ケーブルが基本のビデオ出力コネクタに接続されているか確認してください。ご不明な点がある場合は、製品のインストール ガイドを参照してください。

リモート コントロールと
画面メニュー[作業の概要に戻る](#)

リモート コントロールと画面メニュー

[管理者設定] メニュー パスワードの設定

システムの初期設定では、[管理者設定] のメニュー パスワードは設定されていません。

注: [管理者設定] メニューはビデオ会議システムの動作に影響するため、パスワードを設定して保護することを強く推奨します。

1. **[ホーム] > [設定] > [管理者設定] > [メニュー パスワードの設定]** の順に移動します。
リモート コントロールの # キーを押すと、小文字、大文字、数字 (abc/ABC/123) を切り替えられます。
2. メニュー パスワードを入力します。入力したパスワードは表示されず、各文字はアスタリスク (*) に置き換えられます。
3. 変更内容を保存するには **[保存]** を選択し、保存しない場合は **[キャンセル]** を選択します。
4. **ホーム** (🏠) を押して終了します。

[作業の概要に戻る](#)

リモートコントロールと画面メニュー

プロビジョニング設定

(プロビジョニング システムを使用する場合)

以下のパラメータについてご不明な点がある場合はプロビジョニング システム プロバイダーにお問い合わせください。

プロビジョニング設定の詳細については、製品の管理者ガイドを参照してください。

プロビジョニング インフラストラクチャの選択

1. **[ホーム] > [設定] > [管理者設定] > [詳細設定] > [Provisioning] > [Mode]** の順に移動し、次のいずれかのプロビジョニング インフラストラクチャを選択します。
 - TMS: Cisco TelePresence Management System
 - VCS: Cisco Video Communication Server (EX シリーズと MX シリーズでのみ使用可能)
 - Callway: Cisco TelePresence Callway
 - CUCM: Cisco Unified Communications Manager
- [Off]** を選択した場合、ビデオ システムのすべての設定を手動で行う必要があります。

設定を変更したら必ず新しい値を保存してください

- ドロップダウンリストの選択: 目的の値に移動し、保存する場合は **OK** (✓) キーを押し、保存しない場合は左矢印キー ◀ を押します。
- 入力フィールドへのテキスト入力: テキストを入力後、変更を保存する場合は **[OK/保存]** に移動し、保存しない場合は **[キャンセル]** に移動して、**OK** (✓) キーを押して確定します。

作業の概要に戻る

必要なプロビジョニング パラメータの設定

設定するパラメータは選択したインフラストラクチャによって異なります。

TMS

1. **[ホーム] > [設定] > [管理者設定] > [詳細設定] > [Provisioning] > [ExternalManager]** の順に移動します。
2. **[Address]** 入力フィールドに Cisco TMS サーバーの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。¹⁾
3. **[Path]** 入力フィールドに、プロビジョニング サービスのリンク先を入力します。
4. Cisco TMS でビデオ システムの認証が必要な場合があります。その場合は、**[ホーム] > [設定] > [管理者設定] > [詳細設定] > [Provisioning]** の順に移動し、**[LoginName]** と **[Password]** の入力フィールドにそれぞれ情報を入力します。

VCS (EX シリーズと MX シリーズのみ)

1. **[ホーム] > [設定] > [管理者設定] > [詳細設定] > [Provisioning] > [ExternalManager]** の順に移動します。
2. **[Address]** 入力フィールドに Cisco VCS の IP アドレスまたは DNS 名を入力します
3. **[Domain]** 入力フィールドに、Cisco VCS の SIP ドメインを入力します。
4. Cisco VCS でビデオ システムの認証が必要な場合があります。その場合は、**[ホーム] > [設定] > [管理者設定] > [詳細設定] > [Provisioning]** の順に移動し、**[LoginName]** と **[Password]** の入力フィールドにそれぞれ情報を入力します。

VCS プロビジョニングの詳細については、付録の「MX シリーズと EX シリーズの Cisco VCS プロビジョニング」を参照してください。

Callway

Cisco TelePresence Callway サービスをお申し込みいただくと、**ビデオ番号**と**アクティベーションコード**をお送りいたします。

ビデオ電話番号とアクティベーションコードがお手元に届かない場合は、support@callway.com まで電子メールでお問い合わせください。

1. **[ホーム] > [設定] > [管理者設定] > [詳細設定] > [Provisioning]** の順に移動します。
2. **[LoginName]** 入力フィールドに、ビデオ番号を入力します。
3. **[Password]** 入力フィールドに、アクティベーションコードを入力します。

CUCM

1. **[ホーム] > [設定] > [管理者設定] > [詳細設定] > [Provisioning] > [ExternalManager]** の順に移動します。
2. **[Address]** 入力フィールドに UCM プロビジョニング サーバーの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。¹⁾

Cisco UCM プロビジョニングの設定の詳細については、『*Administering TC endpoints on CUCM*』ガイドを参照してください。

¹⁾ DHCP サーバーをセットアップして、外部マネージャのアドレスを自動的に割り当てることができます (TMS: オプション 242、UCM: オプション 150)。ただし、入力フィールドに手入力すると、DHCP で割り当てられた設定は上書きされます。

リモート コントロールと画面メニュー

IP の設定

(プロビジョニング システムを使用しない場合)

ビデオ会議システムは IP バージョン 4 (IPv4) と IP バージョン 6 (IPv6) の両方をサポートしています。

どちらのバージョンも、IP パラメータをネットワークで自動的に割り当てることも、すべて手動で設定することもできます。

パラメータを手動で設定する場合は、ネットワーク管理者に連絡し、必要なパラメータを取得してください。

IP アドレスがすでにシステムに割り当てられている場合は、[システム情報] ページに現在の IPv4 と IPv6 アドレスが表示されます。

[ホーム] > [設定] > [システム情報] の順に移動します。

システムの IPv4 アドレスおよび IPv6 アドレスは、[システム情報] ページの [ネットワーク] セクションに表示されます。

[終了] (右端の機能キー) を押して終了します。

設定を変更したら必ず新しい値を保存してください

- ドロップダウンリストの選択: 目的の値に移動し、保存する場合は **OK** (✓) キーを押し、保存しない場合は左矢印キー ◀ を押します。
- 入力フィールドへのテキスト入力: テキストを入力後、変更を保存する場合は **[OK/保存]** に移動し、保存しない場合は **[キャンセル]** に移動して、**OK** (✓) キーを押して確定します。

作業の概要に戻る

1. IP バージョンの選択

- [ホーム] > [設定] > [管理者設定] > [IP 設定] の順に移動します。
- 必要に応じて、**[IP バージョン]** ドロップダウンリストから **[IPv4]** または **[IPv6]** を選択します。

2. IP 取得方法の自動 / 手動の選択

- [設定] > [IP 取得方法] の順に移動します。
- IP を自動取得する場合は、**[IP 取得方法]** ドロップダウンリストから **[DHCP]** (IPv4) または **[自動設定]** (IPv6) を選択します。IP アドレスを手動で設定する場合は、**[静的]** を選択します。
- 変更を保存する場合は **[OK]** に移動し、保存しない場合は **[キャンセル]** に移動します。**OK** (✓) キーを押して確定します。

3. IP アドレスの設定

下記の表に従って、残りの IP 設定を行います。必要なアクションは、前の手順で選択した IP バージョンや IP 取得方法によって異なります。

4. メイン メニューに戻る

ホーム (🏠) を押して、[ホーム] メニューに戻ります。

IP バージョン	IP 割り当て	
	DHCP/自動設定	静的
IPv4	IP 設定は完了しています。	a. [設定] に移動し、 [IP アドレス] 、 [サブネットマスク] 、 [ゲートウェイ] 、 [DNS サーバー] を入力します。
IPv6	a. [設定] に移動し、必要に応じて [DHCP オプション] を [オン] または [オフ] に設定します。 ¹ b. 変更を保存する場合は [OK] に移動し、保存しない場合は [キャンセル] に移動します。	a. [設定] に移動し、 [IP アドレス] と [ゲートウェイ] を入力します。 b. 必要に応じて [DHCP オプション] を [オン] または [オフ] に設定します。 ¹ c. 変更を保存する場合は [OK] に移動し、保存しない場合は [キャンセル] に移動します。

¹ DHCP オプション:
[オフ]: すべての IP パラメータ (IP アドレスとゲートウェイを除く) を手動で設定する必要があります。全設定の詳細については、製品の管理者ガイドを参照してください。
[オン]: IP パラメータ (DNS サーバーや NTP サーバーのアドレスなど) はネットワークで自動的に取得されます。

リモートコントロールと画面メニュー

H.323 と SIP の設定

(プロビジョニング システムを使用しない場合)

オンラインにして通話を受発信できるようにするには、システムを適切に設定する必要があります。システムは、ビデオ通話で H.323 プロトコルまたは SIP プロトコルのいずれかを使用します。

注: ネットワーク設定の詳細については、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

ネットワークが Cisco TMS(Cisco TelePresence Management Suite)で管理されている場合は、Cisco TMS 管理者がネットワークへの接続をサポートします。

設定を変更したら新しい値を保存してください

- ド롭ダウンリストの選択: 目的の値に移動し、保存する場合は **OK** (✓) キーを押し、保存しない場合は左矢印キー ◀ を押します。
- 入力フィールドへのテキスト入力: テキストを入力後、変更を保存する場合は **OK/保存** に移動し、保存しない場合は **キャンセル** に移動して、**OK** (✓) キーを押して確定します。

H.323

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

- [ホーム]** > **[設定]** > **[管理者設定]** > **[詳細設定]** > **[H323]** > **[Profile 1]** の順に移動します。
- [H323Alias]** に移動し、**[E164]** と **[ID]** の入力フィールドに E164 番号と ID を入力します。
- H.323 ゲートキーパー アドレスをシステムで自動取得する場合は、**[Gatekeeper]** に移動し、**[Discovery]** ドロップダウンリストから **[Auto]** を選択します。アドレスを手動で入力する場合は、**[Manual]** を選択します。
[Manual] に設定した場合は、**[Address]** 入力フィールドにゲートキーパー アドレスを入力します。
- H.323 ゲートキーパーで認証が必要な場合に、ゲートキーパーにシステムを認証させるには、**[Authentication]** に移動し、**[Mode]** ドロップダウンリストから **[On]** を選択します。認証が必要ない場合は、**[Off]** を選択します。
[On] に設定した場合は、**[LoginName]** と **[Password]** の入力フィールドにそれぞれ情報を入力します。
- [ホーム]** > **[設定]** > **[システム情報]** の順に移動し、H323 設定を確認します。
正常にゲートキーパーに登録されると、[H323] セクションの **[ステータス]** に **[登録済み]** と表示されます。
- ホーム** (🏠) を押して終了します。

他の H.323 設定を変更する場合は、製品の管理者ガイドを参照してください。

SIP

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

- [ホーム]** > **[設定]** > **[管理者設定]** > **[詳細設定]** > **[SIP]** > **[Profile 1]** の順に移動します。
- [URI]** に移動し、入力フィールドに SIP URI を入力します。
- [Default Transport]** ドロップダウンリストから希望のトランスポート プロトコルを選択します。**[Auto]** を選択すると、システムは TLS、TCP、UDP の順に接続を試みます。
- [Type]** ドロップダウンリストから希望のプロキシ タイプを選択します。デフォルトのタイプは **[Standard]** です。
- [Proxy 1]** に移動します。SIP プロキシ アドレスをシステムで自動取得する場合は、**[Discovery]** ドロップダウンリストから **[Auto]** を選択します。アドレスを手動で入力する場合は、**[Manual]** を選択します。
[Manual] に設定した場合は、**[Address]** 入力フィールドにプロキシ アドレスを入力します。
- SIP プロキシで認証が必要な場合は、ログイン名とパスワードを入力して、システムを認証させる必要があります。
[Authentication 1] に移動し、**[LoginName]** と **[Password]** の入力フィールドにそれぞれ情報を入力します。
- [ホーム]** > **[設定]** > **[システム情報]** の順に移動し、SIP 設定を確認します。
正常に SIP サーバーに登録されると、[SIP] セクションの **[ステータス]** に **[登録済み]** と表示されます。
- ホーム** (🏠) を押して終了します。

他の SIP 設定を変更する場合は、製品の管理者ガイドを参照してください。

作業の概要に戻る

リモート コントロールと画面メニュー

日時と場所の設定

(プロビジョニング システムを使用しない場合)

ビデオ会議システムをセットアップする際に、日付と時刻が正確に設定されているか確認する必要があります。日付と時刻の情報は、特にゲートキーパーやその他のネットワーク要素に送信されるタイム スタンプ メッセージに使用されます。

日付と時刻はメイン画面の右上隅に表示されます。

設定を変更したら新しい値を保存してください

- ドロップダウンリストの選択: 目的の値に移動し、保存する場合は **OK** (✓) キーを押し、保存しない場合は左矢印キー ◀ を押します。
- 入力フィールドへのテキスト入力: テキストを入力後、変更を保存する場合は **[OK/保存]** に移動し、保存しない場合は **[キャンセル]** に移動して、**OK** (✓) キーを押して確定します。

- [ホーム]** > **[設定]** > **[日付と時刻]** の順に移動します。
- [時刻表記形式]** ドロップダウンリストから **[24 時間]** または **[12 時間 (am/pm)]** を選択します。
- [日付表記形式]** ドロップダウンリストから **[日.月.年]**、**[月.日.年]**、**[年.月.日]** のいずれかを選択します。
- [タイム ゾーン]** ドロップダウンリストからタイム ゾーンを選択します。
- [NTP モード]** ドロップダウンリストから **[自動]**、**[手動]**、**[オフ]** のいずれかを選択します。¹
[手動] を選択した場合は、**[NTP サーバー]** 入力フィールドに NTP サーバー アドレスを入力します。
[オフ] を選択した場合は、**[日]**、**[月]**、**[年]**、**[時刻]** ドロップダウンリストにそれぞれ正確な値を入力します。
- ホーム** (🏠) を押して終了します。

¹ NTP モード:

- [自動]:** 時刻は NTP サーバーにより定期的に更新されます。NTP サーバー アドレスはネットワークから自動取得されます (DHCP)。
- [手動]:** 時刻は NTP サーバーにより定期的に更新されます。NTP サーバー アドレスを手動で入力する必要があります。
- [オフ]:** 時刻を手動で設定する必要があります。時刻は自動更新されません。

[作業の概要に戻る](#)

Web インターフェイス

Web インターフェイスを使用した設定

システムの IP アドレスが分からない場合は、タッチ コントローラまたはリモート コントロールで設定する必要があります。

IP アドレスの検索

タッチ コントローラで **[その他] > [設定] > [システム情報]** の順にタップします。リモート コントロールと画面メニューの場合は、**[ホーム] > [設定] > [システム情報]** の順に移動します。

どちらの場合も、[ネットワーク] セクションにシステムの IPv4 アドレスと IPv6 アドレスが表示されます。

Web インターフェイスへのサインイン

1. Web ブラウザを開き、アドレス バーにシステムの IP アドレスを入力します。
2. ユーザー名とパスワードを入力し、**[Sign In]** をクリックします。
デフォルトのユーザー名は `admin` で、パスワードは設定されていません。

システムに接続できない場合

- ・ システムとコンピュータが同じネットワークに接続されているか確認してください。
- ・ システムのスイッチがオンになっているか確認してください。

システムのスイッチをオンにしたら、システムが起動するまで数分お待ちください。



Web インターフェイス

[作業の概要に戻る](#)

Web インターフェイス

システム / コーデック パスワードの設定

システムの Web インターフェイスやコマンド ライン インターフェイスにサインインするには、ユーザー名とパスワードが必要です。

ビデオ会議システムのデフォルトのユーザー アカウントは、ユーザー名が `admin` で、パスワードは設定されていません。このユーザーにはシステムへのフル アクセス権があります。

注: システム設定へのアクセスを制限するために、`admin` ユーザーにパスワードを設定することを強く推奨します。

パスワードのコピーを安全な場所に保管してください。パスワードを忘れた場合は、最寄りの Cisco 代理店までお問い合わせください。

1. 右上隅のユーザー名の横にある小さな矢印をクリックし、**[Change password]** を選択します。
2. **[Current password]** と **[New password]** の入力フィールドにそれぞれパスワードを入力後、新しいパスワードを再入力します。
パスワードの形式は、0 ~ 64 文字の文字列です。
現在パスワードが設定されていない場合は、**[Current password]** を空白にします。
3. **[Change password]** をクリックします。

[作業の概要に戻る](#)

Web インターフェイス

プロビジョニング設定

(プロビジョニング システムを使用する場合)

以下のパラメータについてご不明な点がある場合はプロビジョニング システム プロバイダーにお問い合わせください。

プロビジョニング設定の詳細については製品の管理者ガイドを参照してください。

プロビジョニング インフラストラクチャの選択

1. **[Configuration]** タブに移動し、**[Advanced Configuration]** を選択します。
2. 左の列から **[Provisioning]** 設定を開きます。
3. **[Mode]** ドロップダウンリストからプロビジョニング インフラストラクチャを選択します。
 - TMS: Cisco TelePresence Management System
 - VCS: Cisco Video Communication Server (EX シリーズと MX シリーズでのみ使用可能)
 - Callway: Cisco TelePresence Callway
 - CUCM: Cisco Unified Communications Manager

[Off] を選択した場合、ビデオ システムのすべての設定を手動で行う必要があります。

必要なプロビジョニング パラメータの設定

設定するパラメータは選択したインフラストラクチャによって異なります。

TMS

1. Cisco TMS でビデオ システムの認証が必要な場合があります。その場合は、**[LoginName]** と **[Password]** の入力フィールドにそれぞれ情報を入力します。
[OK] をクリックし、設定を保存します。
2. **[ExternalManager]** 見出しの下にある **[Address]** 入力フィールドに Cisco TMS サーバーの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。¹⁾
[OK] をクリックし、設定を保存します。
3. **[Path]** 入力フィールドに、プロビジョニング サービスのリンク先を入力します。
[OK] をクリックし、設定を保存します。

VCS (EX シリーズと MX シリーズのみ)

1. Cisco VCS でビデオ システムの認証が必要な場合があります。その場合は、**[LoginName]** と **[Password]** の入力フィールドにそれぞれ情報を入力します。
[OK] をクリックし、設定を保存します。
2. **[ExternalManager]** 見出しの下にある **[Address]** 入力フィールドに Cisco VCS の IP アドレスまたは DNS 名を入力します。
[OK] をクリックし、設定を保存します。
3. **[Domain]** 入力フィールドに、Cisco VCS の SIP ドメインを入力します。
[OK] をクリックし、設定を保存します。

VCS プロビジョニングの詳細については、付録の **▶「MX シリーズと EX シリーズの Cisco VCS プロビジョニング」** を参照してください。

Callway

Cisco TelePresence Callway サービスをお申し込みいただくと、**ビデオ番号とアクティベーション コード**をお送りいたします。

ビデオ電話番号とアクティベーション コードがお手元に届かない場合は、support@callway.com まで電子メールでお問い合わせください。

1. **[LoginName]** 入力フィールドに、ビデオ番号を入力します。
[OK] をクリックし、設定を保存します。
2. **[Password]** 入力フィールドにアクティベーション コードを入力します。
[OK] をクリックし、設定を保存します。

CUCM

1. **[ExternalManager]** 見出しの下にある **[Address]** 入力フィールドに UCM プロビジョニング サーバーの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。¹⁾

Cisco UCM プロビジョニングの設定の詳細については、『**Administering TC endpoints on CUCM**』ガイドを参照してください。

¹⁾ DHCP サーバーをセットアップして、外部マネージャのアドレスを自動的に割り当てることができます (TMS: オプション 242、UCM: オプション 150)。ただし、入力フィールドに手入力すると、DHCP で割り当てられた設定は上書きされます。

作業の概要に戻る

Web インターフェイス

IP の設定

(プロビジョニング システムを使用しない場合)

ビデオ会議システムは IP バージョン 4 (IPv4) と IP バージョン 6 (IPv6) の両方をサポートしています。

どちらのバージョンも、IP パラメータをネットワークで自動的に割り当てることも、すべて手動で設定することもできます。

パラメータを手動で設定する場合は、ネットワーク管理者に連絡し、必要なパラメータを取得してください。

IP アドレスがすでにシステムに割り当てられている場合は、[システム情報] ページに現在の IPv4 と IPv6 アドレスが表示されます。

[Diagnostics] タブに移動し、[System Information] を選択します。

システムの IP アドレスは [General] セクションに表示されます。

1. IP バージョンの選択

[Configuration] タブに移動し、[Advanced Configuration] を選択します。

左の列から [Network 1] 設定を開きます。[IPStack] ドロップダウンリストから使用する IP バージョンを選択します。

2. IP 取得方法の自動 / 手動の選択

IPv4: [Assignment] ドロップダウンリストから [DHCP] または [Static] を選択します。

IPv6: [IPv6] セクションにスクロールダウンし、[Assignment] ドロップダウンリストから [Autoconf] または [Static] を選択します。

3. IP アドレスの設定

下記の表に従って、残りの IP 設定を行います。必要なアクションは、前の手順で選択した IP バージョン ([IPStack]) や IP 取得方法 ([Assignment]) によって異なります。

IPStack	Assignment	
	DHCP/Autoconf	Static
IPv4	IP 設定は完了しています。	a. [IPv4] 見出しの下にある [Address]、[Gateway]、[SubnetMask] の入力フィールドにそれぞれ情報を入力します。[OK] をクリックし、変更を保存します。 b. [DNS] 見出しの下にある [Server 1 Address] 入力フィールドに DNS サーバー アドレスを入力します。[OK] をクリックし、変更を保存します。
IPv6	a. 必要に応じて、[DHCPOptions] ドロップダウンリストから [On] または [Off] を選択します。 ¹	a. 必要に応じて、[DHCPOptions] ドロップダウンリストから [On] または [Off] を選択します。 ¹ b. [Address] 入力フィールドにシステムの IP アドレスを入力し、[Gateway] 入力フィールドにゲートウェイ アドレスを入力します。[OK] をクリックし、変更を保存します。
¹ DHCP オプション: [Off]: すべての IP パラメータ (IP アドレスとゲートウェイを除く) を手動で設定する必要があります。 全設定の詳細については、製品の管理者ガイドを参照してください。 [On]: IP パラメータ (DNS サーバーや NTP サーバーのアドレスなど) はネットワークで自動的に取得されます。		

作業の概要に戻る

Web インターフェイス

H.323 と SIP の設定

(プロビジョニング システムを使用しない場合)

オンラインにして通話を受発信できるようにするには、システムを適切に設定する必要があります。システムは、ビデオ通話で H.323 プロトコルまたは SIP プロトコルのいずれかを使用します。

注: ネットワーク設定の詳細については、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

ネットワークが Cisco TMS(Cisco TelePresence Management Suite)で管理されている場合は、Cisco TMS 管理者がネットワークへの接続をサポートします。

H.323

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

1. **[Configuration]** タブに移動し、**[Advanced Configuration]** を選択します。
左の列から **[H323]** 設定を開きます。
2. **[H323 Alias]** 見出しの下にある **[ID]** と **[E164]** の入力フィールドに ID と E164 番号を入力します。
3. **[Gatekeeper]** 見出しに移動します。
H.323 ゲートキーパー アドレスをシステムで自動取得する場合は、**[Discovery]** ドロップダウンリストから **[Auto]** を選択します。アドレスを手動で入力する場合は、**[Manual]** を選択します。
[Manual] に設定した場合は、**[Address]** 入力フィールドにゲートキーパー アドレスを入力します。**[OK]** をクリックし、変更を保存します。
4. H.323 ゲートキーパーで認証が必要な場合に、ゲートキーパーにシステムを認証させるには、**[Authentication]** 見出しに移動し、**[Mode]** ドロップダウンリストから **[On]** を選択します。次に、**[LoginName]** と **[Password]** の入力フィールドにそれぞれ情報を入力します。**[OK]** をクリックし、変更を保存します。
認証が必要ない場合は、**[Mode]** ドロップダウンリストから **[Off]** を選択します。
5. **[Diagnostics]** タブに移動し、**[System Information]** を選択して H323 設定を確認します。
正常にゲートキーパーに登録されると、**[H323]** セクションの **[Status]** に **[Registered]** と表示されます。

他の H.323 設定を変更する場合は、製品の管理者ガイドを参照してください。

SIP

以下のパラメータについてご不明な点がある場合は、システム管理者またはサービス プロバイダーにお問い合わせください。

1. **[Configuration]** タブに移動し、**[Advanced Configuration]** を選択します。
左のサイドバーから **[SIP]** ページを開きます。
2. **[URI 1]** 入力フィールドに SIP URI を入力し、必要に応じて **[DisplayName]** 入力フィールドに表示名を入力します。**[OK]** をクリックし、変更を保存します。
3. **[DefaultTransport]** ドロップダウンリストから希望のトランスポート プロトコルを選択します。**[Auto]** を選択すると、システムは TLS、TCP、UDP の順に接続を試みます。
4. **[Type]** ドロップダウンリストからプロキシ タイプを選択します。デフォルトのタイプは **[Standard]** です。
5. **[Proxy 1]** 見出しに移動します。
SIP プロキシ アドレスをシステムで自動取得する場合は、**[Discovery]** ドロップダウンリストから **[Auto]** を選択します。アドレスを手動で入力する場合は、**[Manual]** を選択します。
[Manual] を選択した場合は、**[Address]** 入力フィールドにプロキシ アドレスを入力します。**[OK]** をクリックし、変更を保存します。
6. SIP プロキシで認証が必要な場合は、ログイン名とパスワードを入力して、システムを認証させる必要があります。**[Authentication 1]** 見出しに移動し、**[LoginName]** と **[Password]** の入力フィールドにそれぞれ情報を入力します。**[OK]** をクリックし、変更を保存します。
7. **[Diagnostics]** タブに移動し、**[System Information]** を選択して SIP 設定を確認します。
正常に SIP サーバーに登録されると、**[SIP]** セクションの **[Status]** に **[Registered]** と表示されます。

他の SIP 設定を変更する場合は、製品の管理者ガイドを参照してください。

作業の概要に戻る

Web インターフェイス

日時と場所の設定

(プロビジョニング システムを使用しない場合)

ビデオ会議システムをセットアップする際に、日付と時刻が正確に設定されているか確認する必要があります。日付と時刻の情報は、特にゲートキーパーやその他のネットワーク要素に送信されるタイム スタンプ メッセージに使用されます。

タッチ コントローラでシステムを操作する場合、時刻はタッチ コントローラ画面の右上隅に表示されます。リモート コントロールでシステムを操作する場合、日付と時刻はメイン画面の右上隅に表示されます。

1. **[Configuration]** タブに移動し、**[Advanced Configuration]** を選択します。
左の列から **[Time]** 設定を開きます。
2. **[DateFormat]** ドロップダウンリストから希望の日付表記形式を選択します。
3. **[TimeFormat]** ドロップダウンリストから希望の時刻表記形式を選択します。
4. **[Zone]** ドロップダウンリストからタイム ゾーンを選択します。
5. **[NetworkServices]** フォルダと **[NTP]** フォルダを開きます。
[Mode] ドロップダウンリストから **[Auto]**、**[Manual]**、**[Off]** のいずれかを選択します。¹
[Manual] を選択した場合は、**[Address]** 入力フィールドに NTP サーバー アドレスを入力します。**[OK]** をクリックし、変更を保存します。
[Off] を選択した場合は、日付と時刻を手動で入力する必要があります。タッチ コントローラを使用する場合は、**[その他] > [設定] > [管理者設定] > [日時と場所]** の順にタップします。リモート コントロールと画面メニュー システムを使用する場合は、**[ホーム] > [設定] > [日付と時刻]** の順に移動します。

¹ NTP モード:

- [Auto]:** 時刻は NTP サーバーにより定期的に更新されます。NTP サーバー アドレスはネットワークから自動取得されます (DHCP)。
- [Manual]:** 時刻は NTP サーバーにより定期的に更新されます。NTP サーバー アドレスを手動で入力する必要があります。
- [Off]:** 時刻を手動で設定する必要があります。時刻は自動更新されません。

[作業の概要に戻る](#)

コマンドライン インターフェイス

コマンドライン インターフェイスを使用したメニュー パスワードの設定

システムの初期設定では、[管理者設定] のメニュー パスワードは設定されていません。

注: [管理者設定] メニューはビデオ会議システムの動作に影響するため、パスワードを設定して保護することを強く推奨します。

[管理者設定] メニュー パスワードは、タッチ コントローラでは設定できません。システムにリモート コントロールがない場合は、コマンドライン インターフェイスからメニュー パスワードを設定する必要があります。

コマンドライン インターフェイスへのサインイン

1. システムの IP アドレスを検索するには、タッチ コントローラで **[その他] > [設定] > [システム情報]** の順にタップします。IPv4 アドレスと IPv6 アドレスは [ネットワーク] セクションに表示されます。
2. システムの IP アドレスを使用して、コマンドライン インターフェイス (SSH または Telnet) を開きます。
3. コーデック / システムのユーザー名とパスワードを入力するよう求められた場合は、入力します。
デフォルトのユーザー名は `admin` で、パスワードは設定されていません。

メニュー パスワードの設定

1. コマンドライン インターフェイス (SSH または Telnet) を使用して、ネットワークまたはシリアル データ ポート経由でシステムに接続します。
2. 以下のコマンドを入力します。

```
xCommand SystemUnit MenuPassword Set
Password: <password>
```

パスワードの形式は、0 ~ 255 文字の文字列です。

[作業の概要に戻る](#)



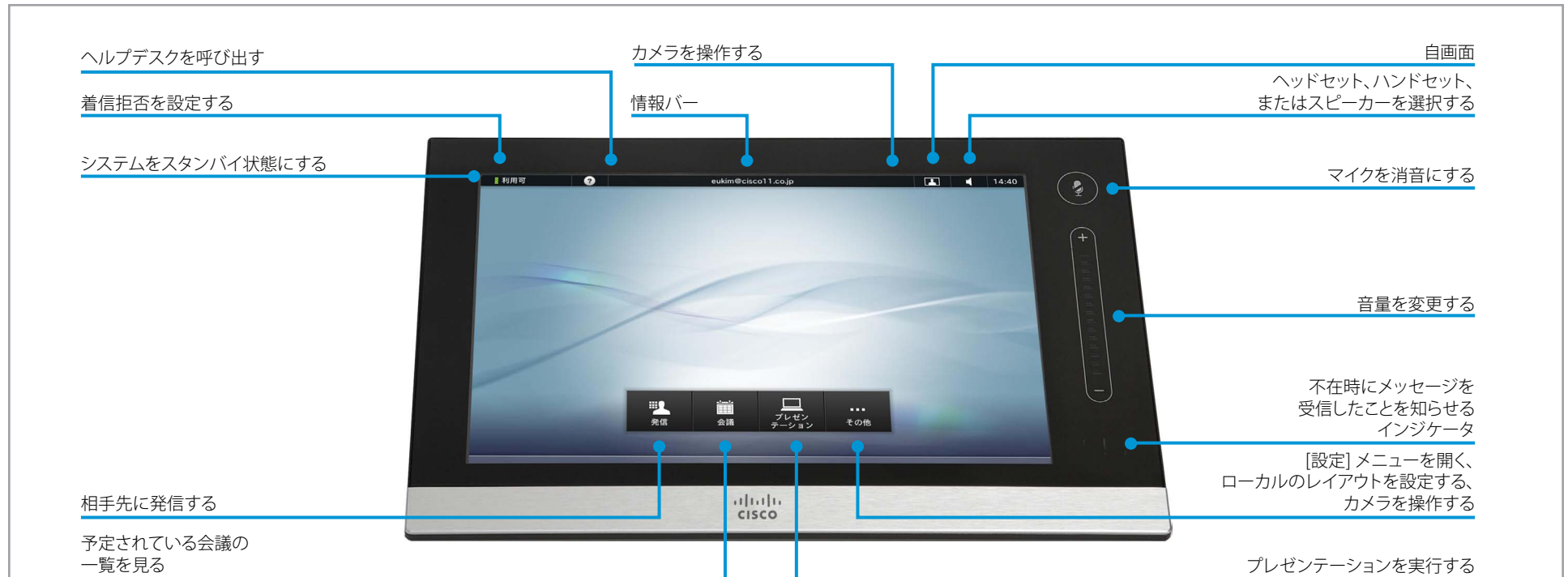
付録

タッチ コントローラの使用法

下記の図は、タッチ コントローラの基本機能を示しています。

タッチ コントローラと使用方法の詳細については、お使いのビデオ会議システムのユーザー ガイドを参照してください。

製品によってはご利用できない設定もありますので、下記の図に示されているタッチ ボタンはお使いのシステムに表示されない場合があります。



基本的な操作方法



必要に応じて、タッチ画面をタップしてシステムを起動します。



ボタンをタップして機能を有効にします。

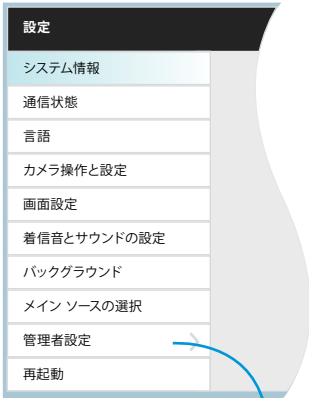


リストを上下にスクロールします。

タッチ コントローラの [設定] メニュー

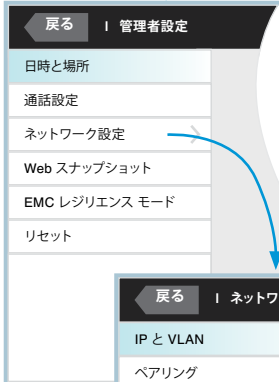
製品によってはご利用できない設定もありますので、右側に表示されているメニュー項目はお使いのシステムに表示されない場合があります。

タッチ コントローラのメニューの詳細については、お使いのビデオ会議システムのユーザー ガイドを参照してください。




[設定] メニュー

- **[システム情報]:** システム設定の概要を表示します。
- **[通信状態]:** 通信中の通信パラメータ (プロトコル、送受信速度、パケット ロスなど) の概要を表示します。
- **[言語]:** ユーザー インターフェイスの言語を選択します。
- **[カメラ操作と設定]:** カメラのパラメータを設定します。
- **[画面設定]:** メイン ビデオ画面の明るさ、色温度、DVI モードを選択します。
- **[着信音とサウンドの設定]:** 着信音、着信音量、キートーンを選択します。
- **[バックグラウンド]:** タッチ コントローラとメイン ビデオ画面のバックグラウンド画像を選択します。
- **[メインソースの選択]:** メインの入力ソース (カメラ操作など) を選択します。
- **[管理者設定]:** 次の [管理者設定] メニューを参照してください。
- **[再起動]:** システムを再起動するには、このオプションを選択します。



[管理者設定] メニュー

- **[日時と場所]:** 日付と時刻を設定します。
- **[通話設定]:** デフォルトのビット レートや自動応答を設定します。
- **[ネットワーク設定]:** 次の [ネットワーク設定] メニューを参照してください。
- **[Web スナップショット]:** Web スナップショット機能を許可 / 不許可します。
- **[EMC レジリエンスモード]:** 電磁雑音に対するタッチ コントローラの耐性を変更するには、このオプションを選択します。
- **[リセット]:** 完全に初期設定にリセットするには、このオプションを選択します。すべての設定がリセットされます。



[ネットワーク設定] メニュー

- **[IP と VLAN]:** IP と VLAN の設定を行います。タッチ コントローラが LAN に接続されている場合は、CODEC と TOUCH が個別に表示されます。
- **[ペアリング]:** コーデックとタッチ コントローラ間のペアリングを設定します。
- **[H323 設定]:** H.323 の設定を行います。
- **[SIP 設定]:** SIP の設定を行います。
- **[プロビジョニング]:** プロビジョニング ウィザードを開始します。
- **[Multiway]:** Multiway サーバーのアドレスを挿入します。

リモート コントロールと画面メニューの使用法

リモート コントロールを手に取り側面のゴム製のライン センサーに触れると、システムが起動します。

システムまたはカメラの方向にリモート コントロールを向け、**ホーム** キー (🏠) を押して最上位メニューを開きます。

メニューのナビゲーション

リモート コントロールによるメニューのナビゲーション

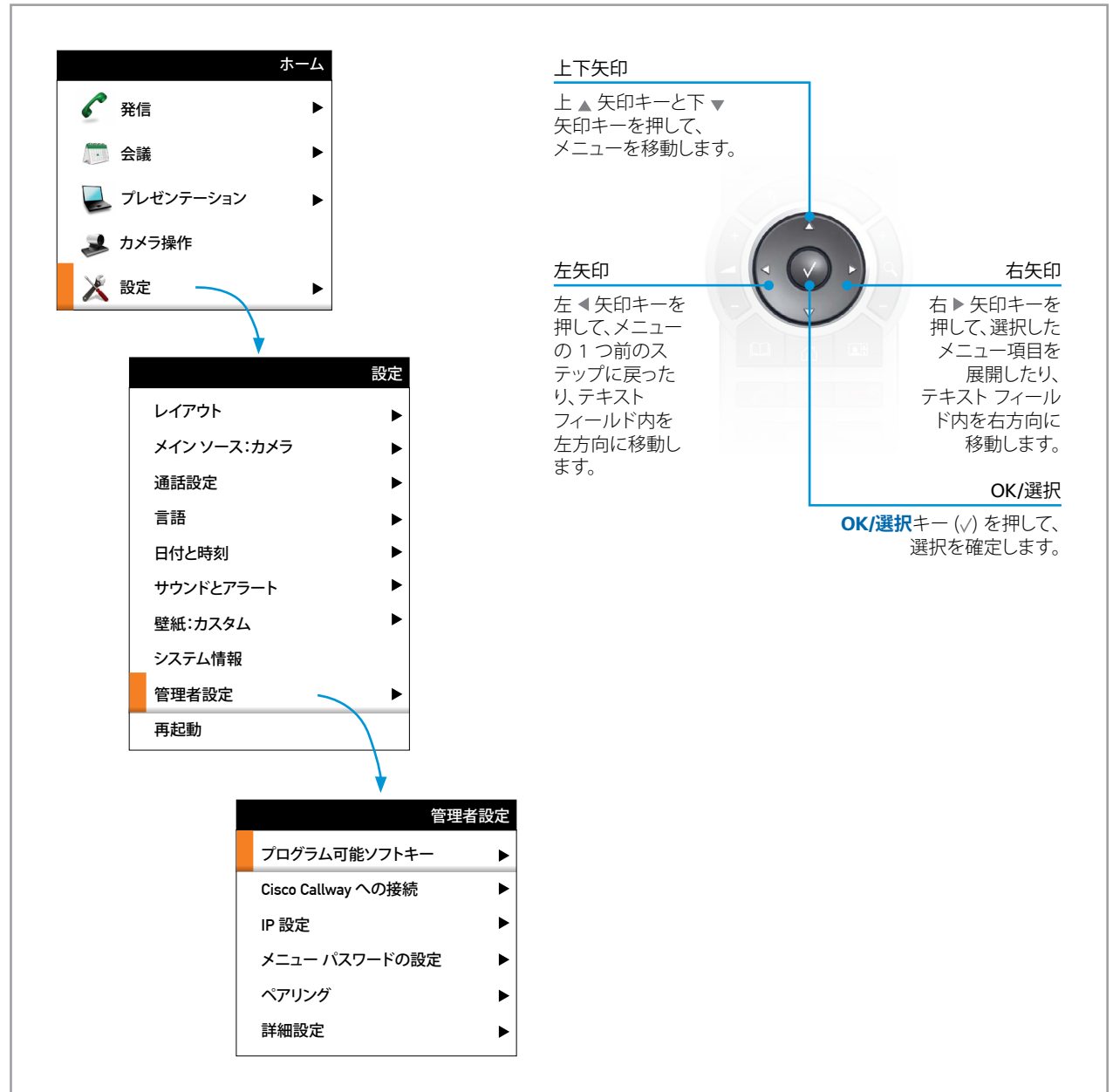
- ・ 上下矢印でメニュー項目を選択します。
- ・ 右矢印で選択項目を展開します。
- ・ 左矢印で 1 つ前のステップに戻ります。

設定の変更

リモート コントロールによる値の変更方法

- ・ ドロップダウンリストから値を選択し、保存する場合は **OK** (✓) キーを押し、保存しない場合は左矢印キー ◀ を押します。
- ・ 値/テキスト入力フィールドに値/テキストを入力します変更を保存する場合は、**[保存]** に移動して **OK** (✓) キーを押し、保存しない場合は、**[キャンセル]** に移動して **OK** (✓) キーを押します。

画面メニューの詳細については、付録の ▶「画面メニュー システム」を参照してください。



ホーム

- 発信 ▶
- 会議 ▶
- プレゼンテーション ▶
- カメラ操作 ▶
- 設定 ▶

設定

- レイアウト ▶
- メインソース:カメラ ▶
- 通話設定 ▶
- 言語 ▶
- 日付と時刻 ▶
- サウンドとアラート ▶
- 壁紙:カスタム ▶
- システム情報 ▶
- 管理者設定 ▶
- 再起動

管理者設定

- プログラム可能ソフトキー ▶
- Cisco Callway への接続 ▶
- IP 設定 ▶
- メニュー パスワードの設定 ▶
- ペアリング ▶
- 詳細設定 ▶

上下矢印
上 ▲ 矢印キーと下 ▼ 矢印キーを押して、メニューを移動します。

左矢印
左 ◀ 矢印キーを押して、メニューの 1 つ前のステップに戻ったり、テキストフィールド内を左方向に移動します。

右矢印
右 ▶ 矢印キーを押して、選択したメニュー項目を展開したり、テキストフィールド内を右方向に移動します。

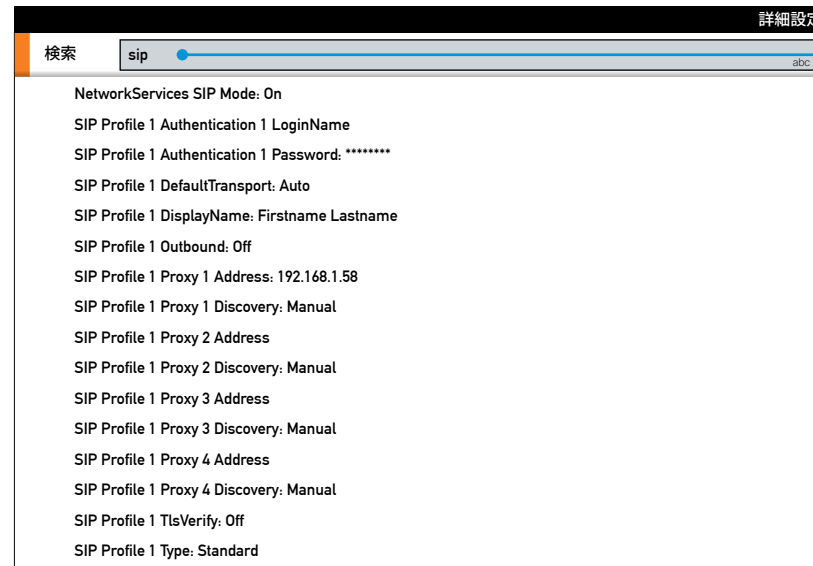
OK/選択
OK/選択キー (✓) を押して、選択を確定します。

検索機能

[詳細設定] メニュー内のシステム設定を検索することができます。また、アドレス帳や発信履歴リスト内の名前も検索できます。

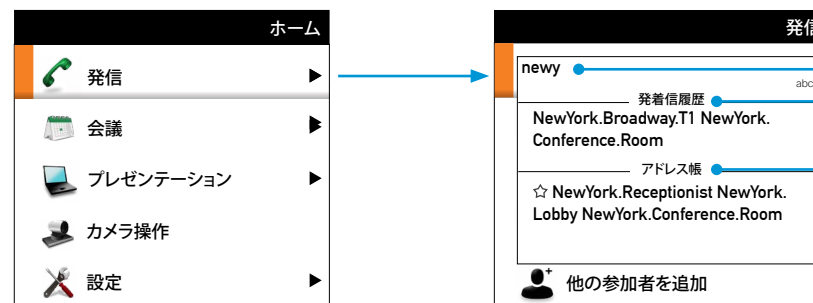
- ・ リモートコントロールの # キーを押すと、文字と数字 (abc/123) を切り替えできます。
- ・ 必要な文字を入力して、検索対象の名前や設定をリストに表示させます。文字を追加 / 削除して、希望の結果を取得します。
- ・ すべての文字を削除すると、メインビューに戻ります。

システム設定の検索



[詳細設定] メニューに移動します。
必要な文字を入力して、検索対象の設定をリストに表示させます。

[発信] メニューの連絡先の検索



必要な文字を入力して、検索対象の名前をリストに表示させます。

最初に、発信履歴リストの連絡先が表示されます。

次に、アドレス帳の連絡先が表示されます。☆ マークが付いた連絡先は個人アドレス帳に登録されているもので、他の連絡先は会社のアドレス帳に登録されているものです。

リモート コントロールの詳細



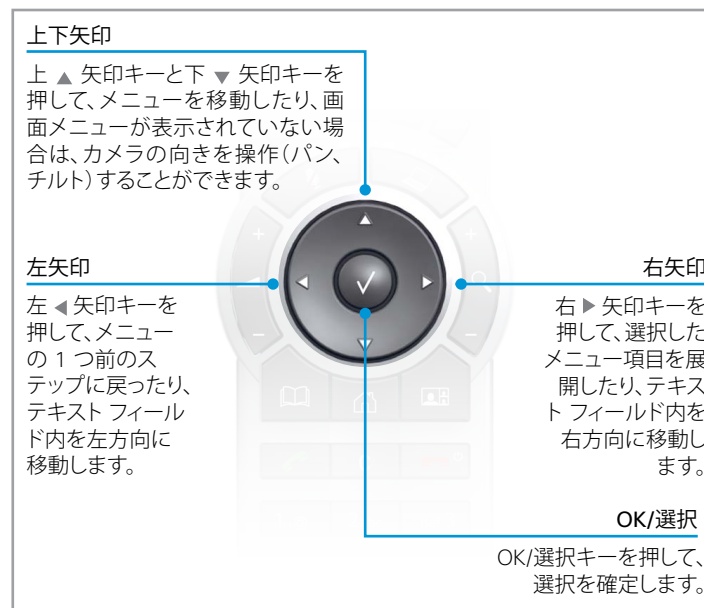
リモート コントロールの上部にある機能キーは、画面のソフトキーに対応しています。

リモート コントロールの中央は、ビデオ、サウンド、アドレス帳、メニュー、ナビゲーションの操作に使用します。

リモート コントロールの下部は、携帯電話のキーパッドに類似しています。

**機能キー**

各機能キーは、画面のソフトキーに対応している、ショートカットと拡張機能です。

**上下矢印**

上 ▲ 矢印キーと下 ▼ 矢印キーを押して、メニューを移動したり、画面メニューが表示されていない場合は、カメラの向きを操作(パン、チルト)することができます。

左矢印

左 ◀ 矢印キーを押して、メニューの1つ前のステップに戻ったり、テキストフィールド内を左方向に移動します。

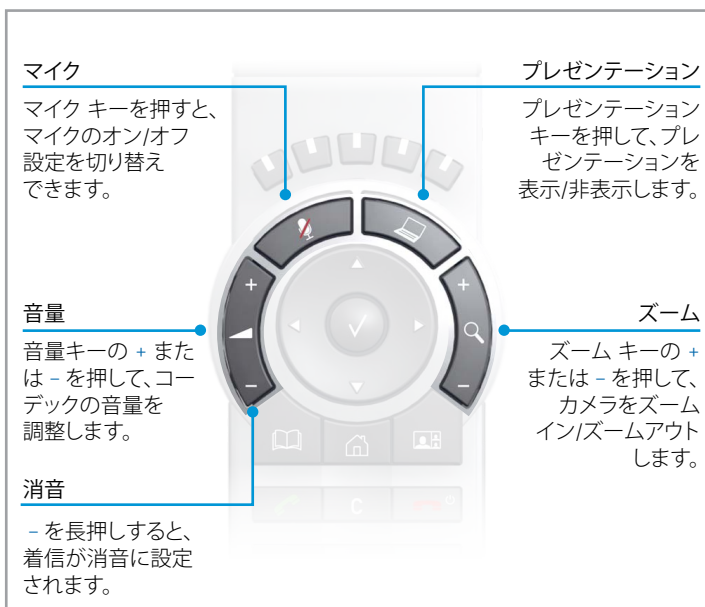
右矢印

右 ▶ 矢印キーを押して、選択したメニュー項目を展開したり、テキストフィールド内を右方向に移動します。

OK/選択

OK/選択キーを押して、選択を確定します。

リモート コントロールの電池残量が十分であることを確認してください (AAA 電池 4 個)。

**マイク**

マイク キーを押すと、マイクのオン/オフ設定を切り替えられます。

プレゼンテーション

プレゼンテーションキーを押して、プレゼンテーションを表示/非表示します。

音量

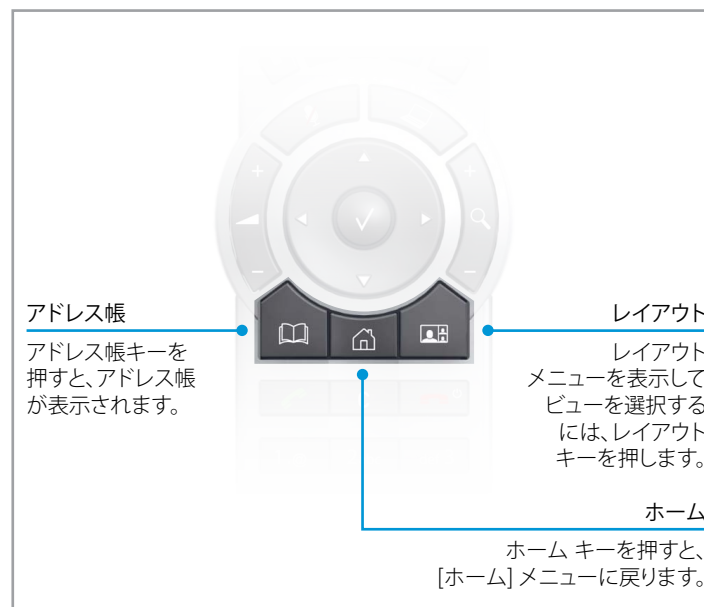
音量キーの + または - を押して、コーデックの音量を調整します。

ズーム

ズーム キーの + または - を押して、カメラをズームイン/ズームアウトします。

消音

- を長押しすると、着信が消音に設定されます。

**アドレス帳**

アドレス帳キーを押すと、アドレス帳が表示されます。

レイアウト

レイアウトメニューを表示してビューを選択するには、レイアウトキーを押します。

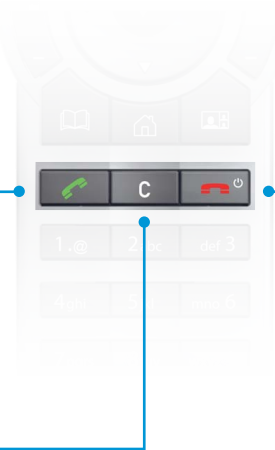
ホーム

ホーム キーを押すと、[ホーム]メニューに戻ります。

発信キー
発信する、または着信に応答するには、発信キーを押します。
[発信] メニューが表示されていない場合は、発着信履歴へのショートカットとしてこの発信キーを使用します。

クリア
クリア キーを押して、テキストフィールドの文字を削除します。

通話終了/スタンバイ
着信を拒否する、通話を終了する、または待機中にスタンバイモードにするには、通話終了キーを押します。メニューの移動時は、このキーはメニューシステムの終了に使用します。
このキーを長押しすると、システムがスタンバイモードになります。


英数字キーパッド

このキーパッドは携帯電話のキーパッドと同様に動作します。

0-9、a-z、ピリオド (.)、@、スペース、*

キーを繰り返し押すと、各キーに表示されている文字オプションが順に切り替わります。


**abc/123 #**

キーを長押しすると、文脈に応じて、小文字、大文字、数字を切り替えることができます。

システムを復帰させる
システムを起動するには、リモート コントロールを手に取り、いずれかのキーを押してください。システムにより検出されない場合、システムまたはカメラの方向にリモート コントロールを向けてください。

ホーム キー
ホーム キーを押すと、画面に [ホーム] メニューが表示されます。

ゴム製のライン センサー
リモート コントロールを手に取り、側面のゴム製のラインセンサーに触れると、システムが起動します。


IR センサー距離 (DIP スイッチ設定)

IR センサーには短距離と長距離があります。ビデオ会議システムが相互に近接している場合は、他のシステムとの干渉を防ぐために短距離を使用すると便利です。

電池カバーを開けて電池を取り出し、DIP スイッチを設定します。

- 短距離 (1m) : DIP スイッチを下に移動します。
- 長距離 : DIP スイッチを上を移動します。

DIP スイッチ

画面メニュー システム

メニューの詳細については、ユーザー ガイドと管理者ガイドを参照してください。

[ホーム]、[設定]、[管理者設定]メニューの詳細については、製品のユーザー ガイドを参照してください。

[詳細設定]メニューの詳細については製品の管理者ガイドを参照してください。



[ホーム]メニュー

- ・ **[発信]**: 発信用のメニュー。
- ・ **[会議]**: 予定されている会議リスト。
- ・ **[プレゼンテーション]**: プレゼンテーション ソースを選択します。
- ・ **[カメラ操作]**: カメラ設定を制御します。
- ・ **[設定]**: システムを設定します。

[設定]メニュー

- ・ **[レイアウト]**: 画面レイアウト (自画面を含む) を選択します。
- ・ **[メインソース]**: メイン ビデオ ソースを選択します。
- ・ **[通話設定]**: デフォルトのビット レートや自動応答を設定します。
- ・ **[言語]**: 希望のメニュー言語を選択します。
- ・ **[日付と時刻]**: 日付と時刻を設定します。
- ・ **[サウンドとアラート]**: 着信音、着信音量、キートーンを選択します。
- ・ **[壁紙]**: 画面のバックグラウンド画像を選択します。
- ・ **[システム情報]**: システム設定の概要を表示します。
- ・ **[管理者設定]**: 管理設定を行います。
- ・ **[再起動]**: システムを再起動するには、このオプションを選択します。

[管理者設定]メニュー

- ・ **[プログラム可能ソフトキー]**: ユーザー定義のソフトキーを使用して、メイン ビデオ ソース、カメラ プリセット、短縮ダイヤルなどを選択します。
- ・ **[Cisco Callway への接続]**: システムを Cisco CallWay の登録式ビデオ コール サービスに接続します。
- ・ **[IP 設定]**: IP の設定を行います。
- ・ **[メニュー パスワードの設定]**: メニュー パスワードを変更します。
- ・ **[ペアリング]**: ペアリング動作を変更します。
- ・ **[詳細設定]**: システム設定を行います。

Web インターフェイスの使用法

下記の図は、ビデオ会議システムの Web インターフェイスのナビゲーションとパラメータ設定の基本的な操作方法を示しています。

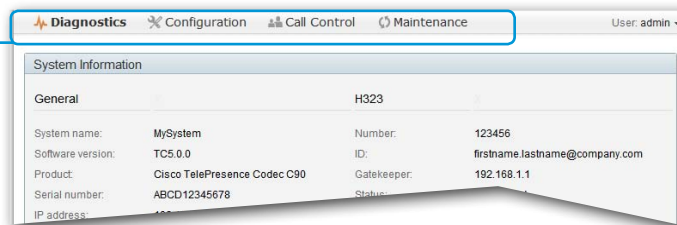
Web ブラウザのアドレス バーにシステムの IP アドレスを入力してサインインすると、Web インターフェイスが開きます。

Web インターフェイスの編成方法やアクセス可能な設定の詳細については、製品の管理者ガイドを参照してください。

推奨ブラウザは、Internet Explorer 8 および Mozilla Firefox 3.x です。

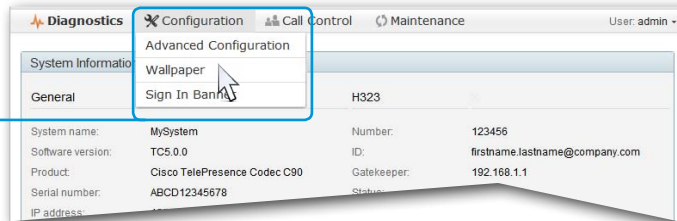
メイン メニュー

システムに正常にサインインすると、メインメニューが開きます。



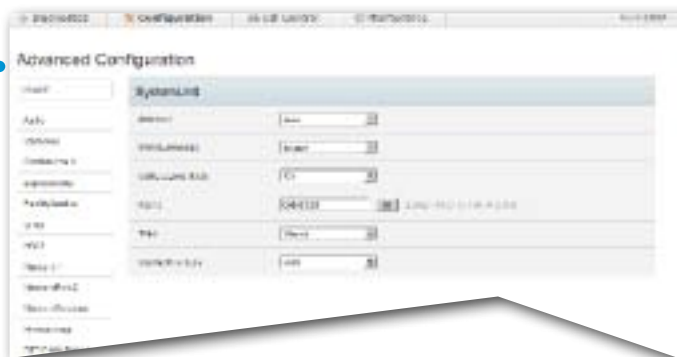
[Configuration] サブメニュー

メインメニュー項目にマウスを移動させると、サブメニューが開きます。



[Advanced Configuration] ページ

サブメニュー項目をクリックすると、該当ページが開きます。このページから、さまざまな設定作業を実行できます。



テキストの入力

入力フィールドにテキストを入力後、**[OK]** をクリックして変更を保存します。



値の選択

矢印をクリックすると、ドロップダウンリストが開きます。値を選択します。



Web インターフェイスの [Advanced Configuration] ページ

Web ブラウザのアドレス バーにビデオ会議システムの IP アドレスを入力してサインインすると、Web インターフェイスが開きます。

サインインすると、[Configuration] メニューから [Advanced Configuration] ページを開くことができます。

このページからすべての設定にアクセスできます。

製品によってはご利用できない設定がありますので、右側に表示されているフォルダがお使いのシステムに表示されない場合があります。

Web インターフェイスと設定の詳細については、お使いのシステムの管理者ガイドを参照してください。



[Advanced Configuration] メニュー

設定項目は次の最上位カテゴリに分類されています。

- **[Audio]:** マイク、音声出力、エコー コントロール、音量、サウンドとアラートなどの設定。
- **[Cameras]:** フォーカス モード、明るさ、ホワイトバランス、逆光補正、オプション (反転やミラー) などの設定。
- **[Conference 1]:** 送受信ビットレート、帯域幅割り当て、着信処理、暗号化、パケット ロス、レジリエンス、接続先操作などの会議設定。
- **[Experimental]:** 今後のリリースで変更される可能性がある実験設定。この設定は「現状のまま」使用され、十分に立証されていません。
- **[FacilityService]:** ファシリティ サービス (ヘルプデスクなど) の短縮ダイヤル ボタンの設定。
- **[GPIO]:** GPIO ピンの定義。
- **[H323]:** H.323 プロトコルの全設定。
- **[Network 1]:** IP、VLAN、QoS 設定。
- **[NetworkPort 2]:** コーデックの 2 番目の Ethernet ポートの有効 / 無効。
- **[NetworkServices]:** ネットワーク サービス (Multiway、Telnet、SSH、HTTP、HTTPS、SNMP、H323、SIP、NTP) の有効 / 無効。
- **[Phonebook Server 1]:** アドレス帳の種類と場所。
- **[Provisioning]:** プロビジョニングのモード、マネージャ アドレス、プロトコル、方法などの設定。
- **[RTP Port Range]:** RTP ポート番号。
- **[SIP Profile 1]:** SIP プロトコルの全設定。
- **[Security]:** 監査サーバーやエラー ログの設定。
- **[SerialPort]:** シリアル ポートの有効 / 無効、ボーレートの設定。
- **[Standby]:** システムがスタンバイ状態になるタイミングや、スタンバイモードの開始 / 終了時の動作方法を設定します。
- **[SystemUnit]:** システムの名前や種類の設定、メニュー言語の選択。
- **[Time]:** 日付と時刻の設定。
- **[UserInterface]:** タッチ パネルの設定。
- **[Video]:** ビデオ ソースとモニタの設定、ビデオ画面のセットアップとレイアウトの設定。

MX シリーズと EX シリーズの Cisco VCS プロビジョニング

Cisco VCS (Video Communication Server) プロビジョニングを使用する場合、Cisco TMS (TelePresence Management System) に、プロビジョニング可能なすべての設定が含まれているテンプレートアップロードする必要があります。これは「Cisco TMS プロビジョニング設定テンプレート」と呼ばれます。

このテンプレートには、ビデオ システムの詳細設定がすべて含まれています。すべての設定 (**[システム ユニット名]** と **[SIP プロファイル [1..1] URI]** を除く) をビデオ システムに自動的にプロビジョニングできます。

詳細設定については、お使いのビデオ システムの管理者ガイドを参照してください。デフォルト値またはサンプル値による例が含まれています。

プロビジョニング設定テンプレートのダウンロード

次の URL からテンプレートをダウンロードできます。

EX シリーズ:

▶ http://www.cisco.com/en/US/products/ps11327/prod_release_notes_list.html

MX シリーズ:

▶ http://www.cisco.com/en/US/products/ps11776/prod_release_notes_list.html

ソフトウェア リリースごとに、各ビデオ システム モデルのプロビジョニング設定テンプレートが用意されています。該当するファイルをご確認の上、ダウンロードしてください。

Cisco TMS へのファイルのアップロード方法や、プロビジョニングするパラメータの希望値の設定方法については、『*Cisco TMS Provisioning Deployment Guide*』を参照してください。Cisco TMS で設定しない場合は、デフォルト値が使用されます。

シスコ Web サイト内のユーザー ドキュメンテーション

Cisco TelePresence 製品のユーザー ドキュメンテーションは、次の URL から入手できます。▶ <http://www.cisco.com/go/telepresence/docs>

お使いの製品に応じて、以下の製品体系に従い該当製品を選択します。

MX シリーズ:

TelePresence エンドポイント - 多目的
> **Cisco TelePresence MX シリーズ**

Profile シリーズ:

TelePresence エンドポイント - 多目的
> **Cisco TelePresence System Profile シリーズ**

EX シリーズ:

TelePresence エンドポイント - パーソナル
> **TelePresence デスクトップ**
> **Cisco TelePresence System EX シリーズ**

Codec C シリーズ:

TelePresence ソリューション プラットフォーム
> **TelePresence インテグレータ向け製品**
> **Cisco TelePresence System Integrator C シリーズ**

SX20 Quick Set および Quick Set C20:

TelePresence ソリューション プラットフォーム
> **TelePresence Quick Set**
> **Cisco TelePresence Quick Set シリーズ**

ドキュメント カテゴリ

各製品のドキュメントは以下のカテゴリに分類されています。

ユーザー ガイド:

保守と運用 | エンドユーザー ガイド

クイック リファレンス ガイド:

保守と運用 | エンドユーザー ガイド

インストール ガイド:

**インストールとアップグレード | インストールとアップグレード
ガイド**

スタートアップ ガイド:

**インストールとアップグレード | インストールとアップグレード
ガイド**

管理者ガイド:

保守と運用 | メンテナンスとオペレーション ガイド

API リファレンス ガイド:

リファレンス ガイド | コマンド リファレンス

物理インターフェイス ガイド:

保守と運用 | エンドユーザー ガイド

法令準拠および安全上の注意:

**インストールとアップグレード | インストールとアップグレード
ガイド**

TC ソフトウェア リリース ノート:

リリースと一般情報 | リリース ノート

TC ソフトウェア ライセンス情報:

リリースと一般情報 | ライセンス情報

ビデオ会議室ガイドライン:

設計 | 設計ガイド

注: 製品によって、提供されるユーザー ドキュメンテーションの種類が異なります。

知的所有権

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザー側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害についてあらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていてもそれらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco および Cisco ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における商標です。Cisco の商標の一覧は、www.cisco.com/go/trademarks でご確認ください。掲載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1005R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

TANDBERG はシスコの一部です。TANDBERG® は Tandberg ASA に帰属する登録商標です。

シスコのお問い合わせ先

シスコの Web サイトでは、シスコの世界各地のお問い合わせ先を確認できます。

URL: ▶ <http://www.cisco.com/web/siteassets/contacts>